



# 川口けいすけのグリーンズ川越

47  
since 2003

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)  
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 議員控え室 川越市役所6F  
TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail mail@kawaguchi-keisuke.net

## 議会改革

### 議員削減決定

40人 → 36人

### 議員に何を求めるか

私は、市民オンブズマンの時から議会改革の一つとして、今の川越市には議員の削減が必要だと訴えてきました。その理由は様々ですが、一つには、川越市が財政難だという事があります。(議員1人あたり年間一千万以上の費用がかかっています) 財政再建には聖域を設けないことが重要です。

皆さんは議員の数を決めるのに何を重視しているでしょうか。多様な意見を市政に反映させたいなら、あまり数が少なくなるとその効果は期待できません。ここで是非考えていただきたいのが、「議員に何を求めるのか」ということです。「議員はボランティアで」ということであれば、議会の夜間休日開催など、他の仕事をしながら出来るような仕組みにするか、資産家や定年後の方など、他の仕事をしなくても生活できる人に任せる、といった議論に、又、専門家としての存在を求めるのか、自治会役員のような存在を求めるのか等、どのような人にどのような仕事を求めるのかといった議論が不可欠であると考えます。

一般的に、数は多ければ多いほど地域代表的な議員は多くなります。少ないほど地域代表的な色は薄くなります。グリーンズ川越16号でも書きましたが、これまでの日本は、国会議員は国ではなく県の方を見ていて、同様に県議会議員は市を、市議会議員は地域を見てきたように思います。そして、有権者はそれをこそ求めてきたように思います。もちろん誰でも地元のことは一番良く知っているのですから、地元の問題点があれば訴えるべきですが、市議会議員であれば一番に市全体を考え行動することが必要です。そして、議員の数が少なくなればなる程そうした要素が求められると考えます。議員定数を考えるとき、有権者が「議員に何を求めるか」という議論こそが必要です。

費用弁償1日2900円→通勤手当に準じた実費相当額へ

政務調査費 月額8万円→7万円

議長交際費を市のホームページで公開

これらも決定!

## 議会改革

### 民意の結果

民意の力こそ結果につながる! ★ ★ ★ ★

議員定数削減の他、上記も今回の議会改革で決まった事項です。議会出席時に交通費等の費用として支給される費用弁償について、私は議員になる前から「市内在住で市役所まで2900円かかる人はいない、実費支給にすべき」と、この紙面上でも指摘してきました。財政難が続く川越市ですが、上記以外も含めこの度の議会改革により、およそ5000万円の議会関係費が削減されます。

今回の議会改革は、まさに「民意」の結果だったと思います。他の多くの自治体が、議会改革の一環として議員定数削減を進める中、「議員が多すぎる」「議員を減らせ」と言う声は年々高まっていると感じていました。私はこの声の理由を、「議員や政治への不信感」だと考えています。議員が何をやっているのかわからず、耳に入るのは不正のニュースばかり、財政が苦しいのなら議員を減らせ。そうした民意こそが、今回の議員定数削減への原動力だったと私は思います。

(1月25日発行の議会だよりにて議会改革についての特集記事を組みました。是非ご覧下さい。)